

給食だより 3月号

令和3年2月9日 給食委員1年生



～春のお彼岸～

春のお彼岸とは春分の日前後それぞれ3日間を合わせた7日間のことです。最初の日を「彼岸の入り」、最後の日を「彼岸明け」と呼びます。お彼岸は日本独自につくられた仏教の行事のひとつで、極楽浄土に思いを馳せ、煩惱や悩みの海を渡ってたどり着く悟りの世界といわれている、「彼岸」に近づけるように修行をする期間といわれています。2021年のお彼岸は、3月17日～3月23日です！

～おはぎとぼたもちは同じもの?!～



お彼岸のお供えする食べ物として「おはぎ」と「ぼたもち」があります。実はこの二つ、どちらも同じものなのです！なぜ呼び名が異なるのかというと、春と秋のお彼岸でそれぞれの季節の花の名前を意識して、呼び名がかえられているためです。春には「牡丹」の花に合わせて牡丹餅(ぼたもち)と呼び、秋は「萩」の花に合わせてお萩(おはぎ)と呼ばれます。



★なぜおはぎやぼたもちを食べるの？

小豆の赤い色には災難から身を守る効果があるといわれており、邪気を払うという信仰と、先祖供養が結び付き、江戸時代に庶民の間で始まった習慣だと考えられています。

